



カムリウミスズメ

# ふれあい

平成24年10月NO7  
発行 門川町教育研究所  
所長 新原とも子  
TEL 63-1566  
五十鈴小学校内(教育相談室)

## 2学期を、勉強の秋にしましょう！

今年の夏は、節電のために、暑い思いをされたのではないかと思います。やっと、涼しくなって、秋らしくなりました。秋は、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋などいろいろな秋がありますが、**勉強の秋**も忘れないようにしましょう。

今月の「ふれあい」では、今研究に取り組んでいる「**防災教育**」と勉強ができるようになるための「**親の大切な役割**」について、教育研究所からの情報を紹介します。

## 南海トラフ大地震・大津波に備える防災教育

8月29日、**南海トラフ大地震**が起きた場合の被害予想が出されました。最大東日本大震災と同じマグニチュード9.1、津波は最高37m、全国で約32万人、宮崎県で4万2千人犠牲者が出る、という予想が出されました。このような地震・津波に備えて、防災教育にしっかり取り組む必要があります。

震度6強の地震

津波到達18分

12mの大津波

浸水7.1km<sup>2</sup>

門川町では、**震度6強の地震の後18分以内に、最大12mの津波**が予想されています。18分以内に安全な場所に避難するための訓練と自ら命を守る防災教育が必要です。

### かどがわ防災教育の基本

※ 子どもの犠牲者を一人も出さない！

かどがわ防災教育の目標は、自分で考え、判断し、行動することができる子どもの育成です。



### 基本1 想定にとらわれない

「今まで津波は来たことがないので、大丈夫だろう」「ここは高いから心配ない」という想定が、大きな被害につながります。常に、それ以上があるかも知れないという、**想定にとらわれずに行動できる力が大切です。**

### 基本3 全力をつくす

東日本大震災では、命を守るために、全力をつくして助かった人々がたくさんいます。高いところに避難したら安心ではなく、もっと高い避難場所はないか探す、さらに安全な場所に避難する、といった**全力をつくす行動力が大切です。**

### 基本2 率先して避難する

避難する人が誰もいない場合、なかなか避難できないものです。自分から率先して避難することは自分の命を守るだけでなく、他の人々の命を守ることにもつながります。**率先して避難することは、みんなの命を守る行動です。**



【3. 11 東日本大震災での大津波】

# 子どもの家庭学習を支える、親の3つの役割とは？

親の大切な3つの役割は、子どもを育てる大切な力ぎです！



## 役割1 子どもの規則正しい生活と学習をしっかりと支えましょう。

親は、子どものペースメーカーになって、子どもの生活をしっかりと支えましょう。

### 家族ぐるみで

子どもは、親の生活を見習って生活しています。子どもだけがんばらせるのではなく、**親もいっしょにがんばる姿を見せましょう。**

### 親子の会話で

悪い時だけ怒っても効果はありません。機嫌のよい時こそチャンスです。食事の時など、いつも子どもに語りかけ、**親の気持ちを、しっかり伝えるようにしましょう。**

### 機会あるごとに

テストの時だけ口うるさく言っても効果はありません。宿題は出た？ テストがあるね！今日の勉強は可だった？など、**チャンスをとらえて勉強に導きましょう。**

## 役割2 自信をなくしたり、不安をもったりする子どもを応援しましょう。

子どもの不安は、親がしっかりと聞くことで、90%以上解決します。



### 親は子どもの応援団

親は子どもの応援団です。**よいところをほめ、足りないところを応援して、子どもが困難を乗り越える力を育てましょう。**子どもの年齢に応じて手を貸したり、教えたり、見守ったりすることが大切です。

### 親は子どもの相談相手

子どもの一番大切な相談相手は親です。親が経験したことについて、成功したことも、失敗したことも、子どもに話してやりましょう。**それが不安をかかえながら成長する子どもの、大切な道しるべになります。**

## 役割3 学習する雰囲気や条件、環境をしっかりとつくりましょう。

家庭の学習雰囲気は、親で変わります。家庭に学びの雰囲気をつくりましょう。

### 勉強場所を決める

小学校低学年では親の近くの食事のテーブルで、高学年や中学生では自分の部屋などで、勉強場所を決めておくことが大切です。できるだけ遊ぶ場所と切り離して、**勉強できる雰囲気、環境をつくるようにしましょう。**

### 勉強時間をつくる

家庭であれこれしていると、いつの間にか勉強時間がなくなってしまいます。そこで、食事の時間、お風呂の時間、テレビの時間などのメリハリをつけ、**勉強時間を生み出してやるようにすることが大切です。**

### 教育研究所からのメッセージ

家庭学習は、学校での授業とともに、**学力を生み出すための大切な両輪**です。これを子どもに任せっぱなしにするのではなく、**成長に応じていろいろな関わり方を工夫しましょう。**手を取ってしっかり教える時期、手は離すが目は離さない時期、手や目を離すが心で見守る時期など、その時、その時に応じた親の役割があります。「親の3つの役割」が、子どもの豊かな成長につながります。

## 子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、**教育相談室に気軽に電話をしてください。**

相談電話（門川町教育相談室）  
63-1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）~~~~